

## 高すぎる 市長退職金をゼロに！

神栖とのサービス格差を是正し、人口流出を食い止めるには、借金行政（箱物行政）の転換と行財政改革が必要です。先頭に立つ市長には、身を切る覚悟と行動が求められます。その第一歩として「市長退職金ゼロ」を実現したいと考えています。市長専用の公用車も廃止します。

4年の任期に対して1344万円もの退職金を受け取る銚子市長。財政難の中で近隣に比べて高い国民健康保険料や公共料金に、多くの銚子市民が苦しんでいます。その一方で、市長だけが、わずか4年間の在職期間で1千万円を超える退職金を受け取ることは、市民には理解できません。民間では考えられない退職金の額です。総理大臣の退職金でさえ4年で524万円です。異常に高い市長退職金返上の動きは全国に広がっています。

市長を含む銚子市職員の退職金は、千葉県市町村総合事務組合が県内各市町村から負担金を集めて、総合事務組合が退職者に支払う仕組みを取っています。これまでは銚子市が単独で組合の条例を変えて市長退職金だけを廃止することは、他市町村から過

半数の同意を得ることが必要で、困難でした。

市町村総合事務組合に加入する富山県小矢部市では、独自に市長の退職手当の額の算定に用いる給料月額をゼロとする条例を制定しました。市長など特別職の退職金は、給料月額に勤続月数をかけて計算しますが、給料月額をゼロと見なすので、退職金もゼロとなります。合わせて総合事務組合は、「条例を特別職職員の退職手当の算定のための給料月額の減額を別に定めた場合はその規定による」と改正し、市長退職金ゼロが可能になりました。同様の手続きを取って、銚子市の市長退職金を廃止したいと考えます。



## 黒塗りの「市長公用車」を廃止！ 財源を生み出す努力を積み重ねます

銚子市が財政危機にある中で、市長専用公用車は廃止します。市長公用車の経費は車両代・人件費など大変な金額です。燃費の悪い黒塗りの高級車では、一般職員が他の仕事に使うこともできません。市長が使わない間は、他の用途にも使える「共用車（一般公用車）」で十分です。公用車の運転手はその他の仕事の戦力にも活用できます。

同行者がいないときは、タクシーの方が経済的です。福岡県筑紫野市では、市長公用車を廃止してタクシーに切り換えた結果、500万円の財源ができたと報告されています。出張の際には電車や公共交通機関をできるだけ使い、通勤（登退庁）のために

公用車は使いません。

財源を生み出す努力、小さな行財政改革を積み重ねていきます。



公用車（イメージ）

# 箱物・借金財政を転換！

## 子育て支援・福祉・まちおこしに



東庄町のように借金をできるだけ抑え、コツコツと貯金をし、小さいながらも堅実な財政運営をしている自治体もあります。対照的に銚子市は、借金づけ財政の影響が高額な公共料金や低水準の子育て支援・福祉サービスに表れ、人口流出の大きな原因になっています。

かつては30億円あった銚子市の貯金（財政調整基金）は今や4千万円です。そんな中で豪華市役所の建設や、24時間高温で燃やし続ける過剰なゴミ

焼却場の建設（150～200億円）が強行されようとしています。人口が減少する中で、市民を更なる借金地獄へと追いやる可能性も否定できません。そのしわ寄せが、公共料金の値上げとしてはね返ってくるのではないかと多くの市民が心配しています。

借金財政を思い切って転換し、銚子の人口に見合ったスリムな財政運営に切り換える。お金（税金）の使い道を変える時期に来ています。

### ■神栖とのサービス格差是正に全力！

- ◎高すぎる国保料の「値下げ」を実現します
- ◎子供の医療費助成を中学3年生まで拡大します
- ◎保育料・給食費の減額で子育て支援！

### ■銚子市立病院の充実

- ◎送迎バスの運行
- ◎24時間受入体制の整備

## 地域医療の前提は貧困対策と福祉

国民健康保険対象者のうち、4人に1人が保険料を払えない状態が銚子市では続いています。病院にかかりたくてもかかれない人をどう救っていくか？地域医療の前提は、貧困対策と福祉施策の充実にあります。国保料が払えず、保険証を持たないために、病院にかかれない。どうしようもなくなって、病院に行った時にはすでに手遅れというケースもあります。このような状態が解決されなければ、地域医療

の真の充実はありえません。

国保料（標準世帯計算）は、銚子市の40万円に対して神栖市35万円、旭市32万円と大きな格差があります。医療費の未納対策とともに、高すぎて払えない国保料金の改善が必要です。

一人暮らしのお年寄りが増加する中で、様々な福祉の制度を知らない方々に対して市の側がアプローチする、「寄り添う市政」の確立が求められています。

## こしかわ信一 総決起集会のご案内

銚子の衰退をストップし、子供たちが帰れるまちを築くため、総決起集会を開催します。「銚子を変える力」を結集しましょう。

- 日時 4月6日（土）  
・午後6時30分開場 7時開会
- 会場 銚子市市民センター  
（銚子市小畑新町）

※入場無料、どなたでもご参加いただけます。

